**第11章　運輸及び通信**

**道路**

　昭和62年４月１日現在の府下の道路の実延長は、１万6644.1kmで国道515.9km （3.1％）、府道1655.5km（9.9％）、市町村道１万4472. 6km （87.0％）となっている。  
　道路の実延長のうち舗装道延長は１万5099.0 kmで前年より160.4km増加し、実延長に占める舗装道の割合は90.7％となり、前年（89. 9％）より0.8ポイント上昇した。  
　また、舗装道の割合をみると、国道100.0％、府道98.7％、市町村道89.5％となっている。  
　次に、橋りょう数（橋長15m以上）は903か所で前年より29か所増加し、５年前と比べると141か所増加している。

**鉄軌道**

　昭和62年中の府下における私鉄９社の１日平均乗車人員の合計は437万8171人で、そのうち定期利用者は293万3153人で全体の67.0％を占めている。  
　次に、昭和62年度の地下鉄の乗車人員の合計は９億2193万8000人で、前年に比べ4723万4000人（5.4％）増加しており、１日平均乗車人員は252万5857人となった。

**自動車**

　昭和62年度末現在の府下の自動車保有台数は、291万408台で、前年度に比べ12万9040台（4.6％）増加した。  
　最も多く増加したのは乗用車で、前年に比べ６万6774台増加しており、次いで軽自動車の５万3017台であった。  
　また、トラックは前年に比べ2626台の増加であった。　自動車１台当たりの人口は3.0人、世帯数では1.0世帯となった。  
　また、自家用乗用車は151万4352台となり全体の52.0％を占め、府民5.8人に１台、2.0世帯に１台保有していることになる。  
　市町村別に自家用乗用車の台数をみると、最も多いのが大阪市の39万6340台で自家用乗用車全体の26.2％を占め、以下堺市14万4440台（9.5％）、東大阪市９万5382台（6.3％）、豊中市７万2512台（4.8％）、枚方市7万1658台（4.7％）の順となっている。

**航空輸送**

　昭和62年中における大阪国際空港の旅客、貨物数をみると、旅客数は1929万2000人で前年に比べ9.0％増加、貨物数量は34万9325 t で前年に比べ9.5％増加した。  
　これを国内線、国際線別にみると、旅客数は国内線が1511万2000人で前年に比べ107万1000人（7.6％）増加し、国際線では418万人で前年に比べ52万8000人（14.5％）の増加となった。  
　また、貨物数量は国内線で18万1098 t で前年に比べ9.1％増加し、国際線では16万8227 t で前年に比べ9.9％増となり、航空輸送は全般的に堅実な伸びを示した。

**通　　信**

　昭和62年度における府下各郵便局の引受内国郵便物数の状況をみると、通常総数（小包を除く）は16億9059万1000通となり、前年度に比べ10.3％増加し６年連続の増加となった。  
　次に、昭和61年度末における府下全域の加入電話総数は、382万5000台で前年度に比べ4.0％増加した。  
　そのうち事務用は132万1000台で住宅用は250万4000台と前年度に比べそれぞれ6.1％、2.9％増加した。  
　この結果、住宅用加入電話は、1.2世帯に１台の割合となっている。